

第6学年国語科学習指導案

研究授業2

児童 男7名 女9名 計16名

指導者 紀室 晃裕

- 1 単元名 「平和について自分の考えを意見文で伝えよう」
 主要教材 「平和のとりでを築く」(大牟田稔作 光村図書 国語下)
 「自分の考えを発信しよう」(光村図書 国語下)
 補助教材 「平和をつくった世界の20人」(ケン・ベラー ヘザー・チェイス著 岩波ジュニア新書)

2 単元の目標

国語への 関心・意欲・態度	・平和について関心をもって、自分の考えを伝えようとしている。
書くこと	・自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果を考えることができる。(書イ)
読むこと	・目的に応じて、文章の内容や文章構成を的確におさえて要旨をとらえ、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。(読ウ) ・本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読オ)
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。 イ(キ)

3 単元の中心となる表現活動

平和について自分の考えを、効果的な書き方を工夫し、意見文で伝える。

4 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
おおむね満足 できる 状況	・平和について、考えを深めるために読んだり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく書こうとしている。	・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えながら、意見文を書いている。	・目的に応じて、文章の内容や文章構成を的確におさえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら読んでいる。 ・平和をテーマにして書かれた本を読んで、意見文として考えをまとめ発表し合い、共通点や相違点を考えている。	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

5 単元について

(1) 児童について

児童は、「生き物はつながりの中に」で、「筆者の問いかけに対する自分の考えを文章にまとめよう」というゴールを設定し、文章中の重要語句に着目して、内容を読み取る学習を行っている。そして、学習して分かったことに具体例を加えながら、自分の考えをまとめる学習をしてきている。

文章をまとめることは、補助教材「ごみ問題ってなあに」のモデル文を提示し、モデル文を参考にしながら、筆者の問いかけに対して、自分の考えを整理して、文章にまとめる学習を行っている。

学級全体として、文章を読み取る力は高まってきている。しかし、自分の考えを文にまとめる時は、具体例と自分の考えをつなげたり、読み手を意識して説得力のある文章を書いたりすることは、十分とはいえない。

平和や書くことに関わるアンケート結果は、次の通りである。

① 「平和」をテーマにした本を読んだことがありますか。				
ある	少しある	あまりない	ない	
10名	3名	3名	0名	
② 「原爆ドーム」について知っていることはありますか。				
ある	ない			
8名	8名			
③ 自分の考えが伝わるように工夫して書くことはできますか。				
できる	少しできる	あまりできない	できない	
2名	7名	4名	3名	

アンケート結果から、平和に関心をもって、読書を行っている児童が多いことが分かった。「原爆ドーム」について知っている多くの児童は、テレビやニュースからの情報がほとんどであったが、実際に見学をしてきた児童が1名いた。

考えが伝わるように書くことは、苦手意識をもっていることが分かった。意見文の指導では、児童が意欲をもって学習を進められるように、自分の考えを明確にして表現できるように十分な手立てを考えていきたい。

(2) 教材について

第6学年の「読むこと」の指導目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本教材では、指導事項ウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を主たる指導事項とする。

本単元は、主要教材「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」の二教材で構成されている。主要教材「平和のとりでを築く」は、「話題提示」(原爆ドームに対する筆者の思い)「説明」(原爆ドームが世界遺産となった道のり)「まとめ」(筆者の主張)という大きく3つのまとまりで構成されている。事実と意見を述べている段落が明確に分かれている文章なので、筆者の考えを述べるための文章構成を学ぶことができる。さらに、比較による強調や文末表現の使い分けなど表現の工夫があり、説得力のある文章を書くための表現の工夫を学ぶことができる教材である。

主要教材「自分の考えを発信しよう」は、教材文で読み取ったことをもとに、平和について自分の考えをもち、発信していく学習である。さまざまな情報を集め、それに学ぶだけでなく、それをもとに自分なりの考えを深め、その考えを外部に発信することで表現能力を高めることができる教材である。

補助教材は、「平和をつくった世界の20人」を活用する。「平和をつくった世界の20人」は、

さまざまな方法で平和を築くことに成功した20人の実話を書かれた本である。「平和をつくった人々」にはさまざまな人がいて、平和を築くためには多様な方法があることを理解できる教材である。この本を並行読書していくことで、平和にとって必要なことを見つけ、意見文を書くときの資料として活用できると考える。

(3) 指導について

本単元では、平和に対する筆者の考えや筆者の書きぶりを読み取り、自分の考えを深めるために読書や話し合いを行い、自分の考えを意見文で表現することを目的としている。そこで、母体小学校の6年生との交流会を設定し、相手意識を明確にすることで、より説得力のある意見文を書かせたいと考えた。そのために、次のような指導過程を構成した。

「見通す」過程では、総合的な学習で事前に学習した戦争体験の話の聞き、平和について考える意欲を高めていきたい。その話から学んだことを意見文として示すことで、意見文に必要なことは何かについて話し合い、読みの観点をつかませていきたい。また、平和をテーマにした本から考えを広げ、平和について意見文を書き、交流しあうという見通しをもたせたい。

「確かめる」過程では、主要教材「平和のとりでを築く」から、平和に対する筆者の考えを読み取らせる。まず、筆者が考えを明確にするためにどのような文章の構成をしているか、まとまりに分けさせることによってとらえさせていきたい。次に、筆者がどのような事実を事例として挙げ、どのような意見を述べて自らの考えの理由や根拠としているのかを読み取らせていきたい。そして、筆者の伝えたいことを考え、それに対しての自分の考えをもたせていきたい。このような段階をふむことにより、筆者の書き方の工夫から筆者の訴えたいことを考え、それに対して自分の考えをもつことができると考えた。【説明的な文章教材読みのものさし】では、⑧段落ごとのつながりはどうか⑩筆者の主張に対する自分の考えはどうかを扱う。【読みの視点】は、「キーワード」を扱い読み取りを進める。また、筆者が、どんな文章構成と表現の工夫をしているか読み取らせていきたい。文章全体の構成としては、頭括型・尾括型・双括型などがあることを理解させ、これらを効果的に用いて意見文を書くときの手立てとする。

「表現する」過程では、より説得力のある意見文を書くために、母体小学校の6年生という相手意識をもたせる。自分の考えを明確に伝える意見文を書くために、教材文の学習を生かし、表現の工夫を取り入れ、文章全体の構成を考えさせる。そして、これまでの「平和」や「戦争」に関する並行読書から、自分の考えを明確にし、根拠となる具体例を見つけさせることで、相手を意識した説得力のある意見文を書かせるようにする。

「広げる」過程では、同じような課題に取り組んでいる母体小学校の6年生と交流して、相手の意見を参考にし、意見を深めたり広げたりさせていきたい。

自分の考えをまとめるためには、言語意識を明確にもつ必要がある。「五つの言語意識」を以下のようにとらえた。

- ・相手意識…同じ課題に取り組んでいる母体小学校の6年生に
- ・目的意識…「平和」についての自分の考えを伝える
- ・場面意識…母体小学校の6年生との交流会で
- ・方法意識…平和をテーマにした意見文で
- ・評価意識…聞き手からの感想

6 学習指導計画と評価規準（14時間）

過程	学習活動	学習内容（・）	評価規準			
			国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1. 単元のねらいを知り、見通しをもつ。 ・戦争体験の話の想起し、戦争	戦争や平和に関して、思っていることを発表し			意見文のモデルから、意見文に必要な観	

2	<p>や平和について思っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「戦争体験の話」の意見文から、「自分の考えをまとめていく」という見通しをもつ。 <p>(1)</p>	<p>ている。</p> <p>(発言)</p>		<p>点をつかむことができてい</p> <p>る。</p> <p>(発言)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・平和について意見文を書くというめあてをもち学習計画を立てる。 <p>(1)</p>	<p>どのように学習を進めるか具体的な流れを考えている。(発言・ワークシート)</p>			
確 か め る 5	<p>2. 主要教材を目的をもって読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」→「なか」→「おわり」の構成をとらえる。 <p>(1)</p>			<p>文章構成をとらえ、内容の概略をつかもうとしている。(発言・ノート)</p>	<p>「はじめ」「なか」「おわり」の文章構成をとらえながら、考えている。(観察・ノート)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「なか」を読み、事実と意見を分けて、内容を読み取る。 <p>(2)</p>			<p>「なか」を読み、事実と意見を区別して読み取っている。(ワークシート)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを読み取り、自分の考えを書くことができる。 <p>(本時)</p>			<p>筆者の考えを読み取り、自分の考えを書いている。(発言・ノート)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力をもつ文章にするために、どんな表現の工夫があるか読み取る。 ・効果的な文章の構成(頭括型、尾括型、双括型)を考える。 <p>(1)</p>			<p>筆者の表現の工夫を読み取っている。(発言・ノート)</p>	<p>文章構成の違いを理解している。(発言)</p>
表 現 す る 5	<p>3. 自分の考えを意見文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仮の要旨」を書き、根拠とする事実を整理する。 <p>(1)</p>		<p>「仮の要旨」を書き、根拠とする事実を整理している。(ワークシート)</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに説得力をもたせる材料を集める。 ・読み取りで得た表現の工夫を生かし、意見文を書く。 <p>(3)</p>	<p>自分の考えが伝わりやすい文章を書こうとしている。(態度)</p>	<p>自分の考えの根拠となる具体的な事例と自分の意見を、読み手に分かるように書き分けている。</p>		

			(意見文)		
	<ul style="list-style-type: none"> 書き上げた意見文を見直して清書する。 <p>(1)</p>		自分の考えを伝えるために、効果的な表現になっているか見直している。(意見文)		
広げ る 2	4. 意見交流会をする。 ・母体小学校の6年生と自分の意見文を交流しながら、意見を深めたり広げたりする。 (2)	自分との共通点や相違点について、進んで発表しようとしている。 (発言)		共通点や相違点に気付き、自分の考えを振り返っている。 (発言・ノート)	

7 本時の指導

(1) ねらい 筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめることができる。

(2) 指導について

本時で身に付けたい力は、「文章の内容を的確におさえて筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめる力」である。

「導入」では、取り上げられた2つの事例について想起させ、筆者がどのような考えをもったのか、読み取ることを確認する。

「展開」では、「平和のとりでを築く」について、キーワードを使って図に表し、筆者の考えを読み深めさせる。筆者の考えと理由と自分の考えを3段落でまとめさせる。(仮説2-③)

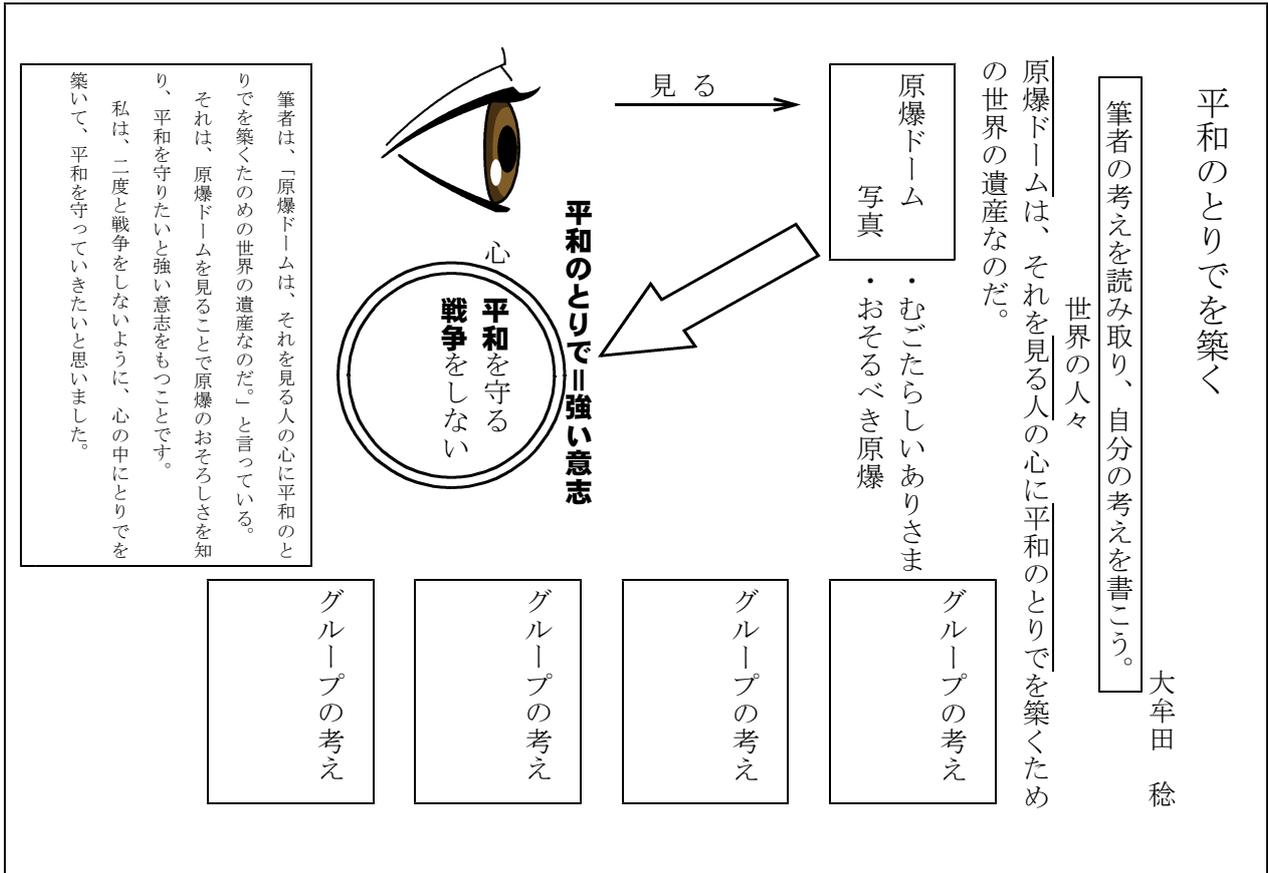
「終末」では、まとめの発表から自分の考えを振り返るようにする。

(3) 展開

段階 (時)	学習活動 学習内容 (・)	支援 (・) 【評価規準】
導 入 (2)	1. 前時の想起をする。 2. 本時の課題を確認する。 筆者の考えを読み取り、自分の考えを書こう。	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げられた2つの事例について、確認する。 学習の流れを確認する。
展 開	3. 課題を解決する。 ・「まとめ」の⑫⑬段落を音読する。 ・筆者の考えが強く表れている文を取り出す。 ・「平和のとりでを築く」について、読み深める。	<ul style="list-style-type: none"> ⑫⑬段落に筆者の考えが書かれていることを確認する。 題名と同じ言葉や文末表現からとらえさせる。

<p>(40)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読みの視点を確認する。 平和のとりで…何を守るのか。 どこにあるのか。 <p>(1) グループで話し合う。</p> <p>(2) 考えたことを発表し、深め合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通点を見つけ、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「とりで」と「築く」の言葉から、読みの視点を与え、目的をもって、読み取っていくことを確認する。 「原爆ドーム」「見る人」「平和のとりで」をキーワードとして、「平和のとりで」がどのような役割を果たしているのか考えることを確認する。 自分たちの考えを図で表し、3つのキーワードを関係づけて、平和のとりではどういふことか考えさせる。 読みの視点に沿って、共通点を話し合わせる。 原爆ドームを見ることで、人の心の中に平和を守ろう、戦争を拒否しようという平和のとりで（強い意志）が築かれていることをとらえさせる。
	<p>4. 読み取った筆者の考えについて、自分の考えを書き、発表する。</p> <p>(1) 課題のまとめをする。</p> <div data-bbox="264 1227 818 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>筆者は、「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」と言っている。</p> <p>それは、原爆ドームを見ることで原爆のおそろしさを知り、平和を守りたいと強い意志をもつことです。</p> <p>私は、二度と戦争をしないように、心の中にとりでを築いて、平和を守っていきたいと思いました。</p> </div> <p>(2) 発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が伝えたいことは何か。それはどういうことなのか。それについて自分はどうか考えるかという3段落でまとめる。 <div data-bbox="847 1227 1417 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】筆者の考えを読み取り、感想をまとめている。</p> <p>A 筆者の考えを理解し、根拠を示して、自分の考えを書いている。</p> <p>B 筆者の考えを理解し、自分の考えを書いている。</p> <p>支援 原爆ドームを見る人が、どんな気持ちをもつことなのか、板書で確認させる。</p> </div>
<p>終末</p> <p>(3)</p>	<p>5. 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 学習の振り返りをする。</p> <p>(2) 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習を振り返り、自己評価させる。 次時は、表現の工夫や効果的な文章の構成について学習することを確認する。

8 板書計画



大牟田 稔

筆者の考えを読み取り、自分の考えを書こう。

世界の人人々

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでの世界の遺産なのだ。

原爆ドーム
写真

- ・むごたらしいありさま
- ・おそろべき原爆

見る



筆者は、「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」と言っている。それは、原爆ドームを見ることで原爆のおそろしさを知り、平和を守りたいと強い意志をもつことです。私は、二度と戦争をしないように、心の中にとりでを築いて、平和を守っていききたいと思いました。

グループの考え

グループの考え

グループの考え

グループの考え